

鼠径ヘルニア修復術 治療計画表

患者

殿

医師

薬剤師

看護師

管理栄養士

開始日

日付	手術前日	手術当日		術後1日目
		手術まで	手術後	
到達目標	手術について不安なことがあれば聞くことができる		呼吸苦や傷部の出血や腫れ等異常があれば知らせることができる	
点滴		2例目以降の手術の場合は、朝から点滴を始めます	翌日まで点滴をします 全身麻酔の場合は酸素をします テープを貼りますので傷口の消毒はありません	朝、点滴を外します 傷の周囲に痒みがある時は、声をおかけください テープの貼りかえをします
内服	持参薬の確認をします 寝る前に下剤を飲みます 眠れない時は、眠剤をお渡しします	お薬は中止です 但し、服用の指示があれば飲んで下さい	痛み止めがあります 内服を再開します	
検査				血液検査があります
検温	入院時と夜伺います	起床時と手術前に伺います	手術後、手術後30分、1時間後、2時間後に伺います	起床時に伺います
安静度	自由です	手術室に行くまでは、お部屋でお過ごし下さい	手術後3時間はベッド上でお過ごし下さい 腰椎麻酔の場合は、体動が激しいと頭痛がおこることがあるので、できるだけ安静に過ごして下さい	自由です お腹に力を入れないでください
清潔		手術までに、爪を切り、化粧などは落として下さい	手術後も洗面・歯磨きをきちんとしましょう	シャワー浴できます
排泄	トイレへ行けます	おしっこの管は手術室で入れます	おしっこの量を測ります おしっこの管が不快な場合は、声をおかけ下さい	おしっこの回数を伺います
食事	夕食まで飲食自由です。 以降は、麻酔科医師の指示に従って下さい	お食事はありません	水分は術後3時間後より開始できます 食事は術後6時間後より摂取できます	朝からお食事があります
その他	禁煙しましょう 麻酔科医師の診察があります 病棟および手術室の看護師より説明があります		手術後の説明があります	退院時の説明があります